

大蔵中だより



3号(令和5年4月24日)

北九州市立大蔵中学校長 古閑 明子

校訓

自律 自ら考えて判断し、責任をもって行動しよう

創造 自分の力を信じ、新しいものを生み出そう

奉仕 勤労を喜び、社会のために役立つ人になろう

◆『挑戦』⇒「行動」⇒「やり遂げる」ことを積み重ねていこう

先日の2年生の道徳の授業では、車いすテニス選手の国枝慎吾選手の話を書き、〈自分の弱さの克服〉について考え議論して行きました。国枝選手は、9歳の時、病気のため両下肢まひとなり、11歳で車いすテニスを始め、大学時代にアテネパラリンピックに初出場したのち、4大会連続で出場しました。シングルスでは2008年の北京大会と2012年のロンドン大会で連覇を果たし、一昨年の東京大会でも金メダルを獲得しました。また、テニス四大大会のシングルスでは歴代最多となる28回の優勝を誇るなど、長年、世界の車いすテニス界をリードしてきた第一人者です。そのモチベーションの支えになったのが、「オレは最強だ!」という“魔法のことば”です。国枝選手にとって決して絶好調ではなかった、東京パラリンピックの時も、オーストラリア人のメンタルトレーナーが送った、この“魔法のことば”を、鏡の前で何度も言い聞かせ、自信がもてなかった自らを奮い立たせたといひます。そんな国枝選手の好きな言葉は『挑戦』で、「常にチャレンジを意識し、決断、行動してきたし、これからもしていく」と言われています。

皆さんも、授業、学級活動や生徒会活動、部活動や習い事などのそれぞれの場面で、「自分でやる」と決めて、「行動」し、「やり遂げて」いきましょう。そうすることで、頑張ることが楽しくなり、次に挑戦したいことができます。この『挑戦』⇒「行動」⇒「やり遂げる」ことの積み重ねが、自身の可能性を広げ、〈自分を信じる〉ことに繋がるのです。

◆部活動発足式 ～感謝の気持ちをもって、主体的に取り組んでいこう～

始業式および対面式で、部活動について説明し、体験入部期間を経て、4月20日(木)に、部活動発足式を行いました。本校の部活動は、以下の方針をもとに活動して行きます。

- ・ 学年や学級の所属を離れ、共通の興味・関心をもつ生徒の集団活動を通して、心身の調和の取れた発達を図り、個性を伸展するとともに、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主性や実践的な態度を養う。
- ・ 平日の活動時間は2時間程度、休日の活動は3時間程度とする。特別な場合を除き、土・日曜日いずれか一方を休養日とする。また、平日(祝日を含む)に週当たり1日以上休養日を設定する。

【保護者の皆様へ】部ごとに「保護者説明会」をいたします。各部の活動について、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

◆子ども読書の日 ～おすすめの図書の紹介プリントを作成しました～

4月21日(金)に、全校で「子ども読書の日」の取組をしました。5校時の読書では、皆、真剣な表情で本を読んでおり、校舎内がシーンと静まり返っていました。6校時は、各自が「おすすめの図書の紹介プリント「私のすすめるこの一冊」を書きました。

現在、各学級には、「学級文庫」として、学習図書委員さんが選んだ本を置いています。また、1～3階の廊下には、『ミニ図書館』として、学校図書館職員さんお勧めの本を置いています。日常的に本を手にとるようにして、生活を豊かにしましょう。

